



技術士が次世代へ語りつく 食とバイオのイノベーション

著者 東 剛己, 他7名

B5・204ページ, 定価: 3,500円+税, エヌ・ティー・エス

本書は国家資格である技術士の資格を有する8名の専門家が食品産業・農林水産業におけるバイオテクノロジーの基礎的な知識・技術から最新の革新技術に至るまで幅広く紹介している。

本書で扱われている「食」に関する話題は、コンパウンドチョコレート、農作物のゲノム解析、エキス調味料、アミノ酸の工業生産、産業用酵素、イネのゲノム育種、6次産業化、食品の遺伝子組換え表示など多岐にわたる。こうした話題を通じて、微生物利用技術、酵素利用技術、遺伝子組換え技術、さらにはバイオインフォマティクスや食品衛生、食品に関わる産業構造まで、さまざまな知識を得ることができる。現在、食品に関わっている研究者や技術者だけでなく、今後、食品業界に進みたい理系学生にもぜひオススメしたい一冊である。

また、8名の著者は、民間企業や大学で活躍されている（もしくは、されてきた）生物工学部門および農業部門の技術士である。本書を通じて、技術士という資格にも興味を持って頂ければ幸いである。 (株式会社カネカ 西八條正克)